

# 第4回オウム真理教(現アレフ) 反対デモ集会・学習会開催!

## 開催日：11月15日 (木)

# オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域オウム  
真理教(現アレフ)  
対策住民協議会

烏山地域にオウム真理教(現アレフ)が進出してから十ヶ月が経ちました。オウム反対デモ集会・学習会も今回の開催で四回目を迎えます。

反対デモ集会と学習会の開催は、地域住民として、オウムの進出に対する反対の意思表示を行うとともに、今後どのような反対運動を行っていくべきなのか、住民の皆様と一緒に考えていくためのものです。

オウム対策住民協議会では、私達が平和で安心して暮らせる街を回復するために、烏山地域からのオウムの撤退は勿論のこと、二〇世紀の人類史に残る凶悪犯罪を犯した集団の解散を目指し、今後反対運動を継続していく方針です。

私達の活動は、住民の皆様のご協力無くしては成り立ちません。一刻も早くオウムの烏山地域からの撤退と解散を目指して、住民の皆様と一致団結した活動を続けていくために、オウム反対デモ集会・学習会により多くの方のご参加をお願いいたします。

## 学習会テーマ「アレフならば安全か！」

～闘う民主主義と地域住民の課題～

講師：ジャーナリスト 有田 芳生氏



### 【スケジュール】

#### ●学習会

- ◆開催日：11月15日 (木)
- ◆会場：烏山区民センターホール
- ◆時間：18：30 (開場) 19：00 (開演)

#### ●反対デモ集会

- ◆学習会終了(20：40予定)後、烏山区民センター広場に集合。オウム真理教(現アレフ)教団施設前を中心にデモ行進を行います。

### 【プロフィール】

有田芳生(ありた よしふ)  
 ○1952年2月20日、京都府生まれ。  
 ○1977年から84年まで出版社に勤務。86年からフリーとなり『朝日ジャーナル』で靈感商法批判キャンペーンに参加。同誌休刊後は『週刊文春』などで統一教会報道。  
 ○93年夏からオウム真理教の取材活動を開始。主な著作として『有田芳生の対決!オウム真理教』(朝日新聞社、1995年)『追いつめるオウム真理教』(KKベストセラーズ、1995年)『「あの子」がオウムに』(光文社、1995年)など。

「歴史的犯罪集団を解体させるために」  
 (協議会ニュース第五号「六月十八日発行」に掲載した有田氏の寄稿文より抄録)

オウム真理教(＝アレフ)は解体しなければならぬ。彼らが自らの手で組織の解体作業に取り組まない以上、社会的な力で包囲し、そこまで負い込む必要がある。なぜか。地下鉄サリン事件を頂点とする一連の残虐行為は、二〇世紀の人類史上に深く刻み込まれた歴史的犯罪であるからだ。(中略)

どのようにすれば解散を実現できるのか。烏山で反対運動に取り組んでいるみなさんの運動を燎原の火が燃え盛るようさらに広げていくことだ。オウム真理教に対する団体規正法が制定されたのも、全国の反対運動が横に結び、地元議員を通じて政府を動かした成果だった。オウムのようなカルト(熱狂集団)に対する取り組みは国際的な課題でもある。例えばフランス。カルトが違法行為を犯し、有罪判決を受けたとき、解散命令を出せる「セクト運動防止・抑制強化法」が、この五月三十日に国民議会で満場一致可決された。「セクト」とはオウムのような集団のこと。こうした法律を日本でも制定する機運を盛り上げようではないか。(以下略)

# 住民協議会活動報告

- 9月 3日 (月) 広報部会・・・「住民協議会ニュース」8号内容について  
打ち合わせ
- 9月 8日 (土) 企画部会・・・11月15日学習会の内容と実行委員会へ  
の提案事項打ち合わせ
- 9月12日 (水) 広報部会・・・「住民協議会ニュース」8号の校正ほか  
署名募金部・・・今後の募金活動について
- 9月17日 (月) 「住民協議会ニュース」8号発行
- 9月22日 (土) 実行委員会・・・11月15日学習会と抗議行動について
- 10月 5日 (土) 署名募金部・・・募金活動について
- 10月12日 (金) 署名募金部・・・募金活動について
- 10月13日 (土) 企画部会・・・次回実行委員会の打ち合わせ
- 10月15日 (月) 広報部会・・・「住民協議会ニュース」9号の校正



※ 皆様からの署名が現在163, 433人集まりました。  
ご協力ありがとうございました。  
これからも住民協議会活動への募金、署名など、よろしくお願いたします。

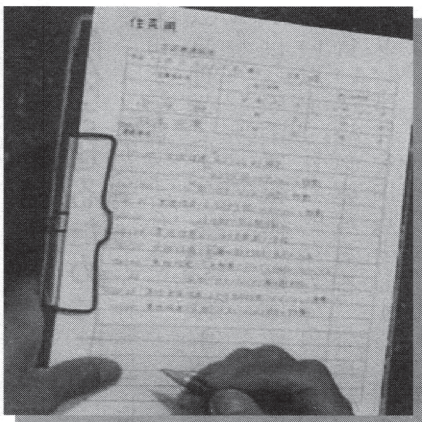
## 署名募金部からのお知らせ

日頃より、当協議会の活動にご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。  
皆様方ご存知の通り、平成12年12月に世田谷区南烏山6丁目にオウムが転居して以来、早1年が経過しようとしています。平成13年2月には最高幹部である上祐史浩がGSハイム烏山201号に転居し、常に50名以上の信者が幹部を囲むように生活をしていきます。  
当協議会では、今春より監視小屋を設置し、協議会ニュースを定期的に発行し、3か月ごとに抗議集会・勉強会を開催しています。  
今後このような活動を継続していくにあたり、相応の費用がかかるのも切実な問題であります。当協議会としましては、これらの活動費用を募金にて運用していくしかありません。  
この10月より、世田谷区内の全町会・自治会・商店街(会)・各種団体にご協力を要請し、募金活動が始まりました。募金は下記の方法で実施しています。  
皆様方にも、全国有数の住みやすい街・世田谷を守るため、募金活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・各町会 次回号のニュースでお知らせします。
- ・各商店街・商店会 募金袋等を配布します。
- ・各種団体 //
- ・各種イベント募金箱 イベント実施場所に募金箱を設置してあります。

## 詰所だより

**オウム真理教(現アレフ)** 信者が烏山に居住しはじめて、もうすぐ1年が経とうとしています。  
住民協議会としては、オウム信者の行動を監視する詰所を設置し、毎日監視を続けています。詰所に置かれた日誌兼連絡表に書かれた、監視に参加した人たちの声を「住民協議会ニュース」を通じて、広く地域の皆さんにお伝えしたいと思います。



- ・ 烏山だけではなく、世田谷の問題として考えていかなければ。
- ・ 大家との対話も考えてみてはどうか。
- ・ 住民票の裁判が決着したら、次は何をと、建設的に事を運んで欲しい。
- ・ どこへ追い出しても同じ、オウムと共存しては・・・

以上、詰所で監視に参加した人たちの声です。  
地域を問わず多くの人たちの協力を必要としている住民協議会のオウム信者居住反対運動です。詰所を訪れて、ひと声をノートへ寄せて下さい。  
これからも「住民協議会ニュース」を通じて、皆さんの声をお伝えしていきたいと思ひます。